

11	課題番号	研究課題名	研究代表者	評価結果
	13853010	環境調和型反応に重点を置いた生物活性天然物の大量合成手法の開発と創薬研究	北 泰行 (大阪大学・大学院薬学研究科・教授)	A+
<p>(意見等)</p> <p>本研究者は、研究課題である環境調和型反応の開発について、水中でのラジカル反応やリサイクル可能な超原子価ヨウ素試薬、またアトムエコノミーな反応などの基盤技術に成功し、質の高い合成法を確立した。これらの基盤技術を用いて、フレデリカマイシン A、ディスコハブデイン A、ガランタミン、スキホスタチンなどの多くの生物活性天然物の全合成に成功した。これらの合成戦略は柔軟性に富み、天然物の類縁体合成にも容易に適用でき、薬理活性評価のための探索研究も遂行している。これらの成果は、当初の予想以上の成果を達成したものとして極めて高く評価でき、創薬化学への波及効果、ならびにプロセス研究の質を飛躍的に高めると期待できる。</p> <p>公表している論文はいずれも質の高いものであり、この点も評価できる。</p>				
12	課題番号	研究課題名	研究代表者	評価結果
	13854010	糖鎖機能の統合的把握: グライコムクス	谷口 直之 (大阪大学・大学院医学系研究科・教授)	A
<p>(意見等)</p> <p>受容体上の N-グリカンの重要性、糖転移酵素タンパク質の新規機能、フコース結合の重要性と欠損による病変の解析など医学的にも重要な成果を上げてきている。網羅的なグライコプロテオミクスに関しては概ね達成できており、他の研究計画は達成できていると判断できる。発表論文も質、数ともに評価できるものである。</p>				